# 第２回長沼町一体型義務教育学校開校準備委員会　会議録

| | |
|---|---|
| Ⅰ．日　時 | 令和６年１０月３１日（木）　18：00～19：35 |
| Ⅱ．場　所 | 長沼町役場　３階　第１・２会議室 |
| Ⅲ．参集者 | 委　員　１１名<br>事務局　　６名 |
| Ⅳ．議事内容 | |
| １．開　会 | 八柳委員長 |
| ２．議　題 | 八柳委員長が議長となり議事を進行。<br>（１）制服等の方向性について<br>事務局より資料に基づき説明。<br>グーグルフォームを活用し、新しい学校の制服について、児童生徒・保護者・教職員等の意見を幅広く伺うため、別紙のアンケート調査を実施。<br>実施期間については１１月中旬以降を予定。<br>調査対象者については小学校４～６年生の児童、中学校全生徒、幼稚園・保育園・小中学校保護者、小中学校教職員を予定。 |
| | （２）校歌の在り方について<br>事務局より資料に基づき説明。<br>新しく制作することを前提にするのではなく、校歌継承という選択肢も踏まえた中で、次回の開校準備委員会議において、改めてご意見をいただくことを予定。 |
| | （３）学校名の公募結果について<br>事務局より資料に基づき説明。<br>校名候補に関するグループワークを実施。<br>「希望の丘ながぬま学園」「長沼義務教育学校」などの意見があったが、「長沼」を漢字表記にするかひらがな標記にするか、児童生徒へのアンケートの取り方なども踏まえた中で、校名案を３案程度に絞って、次回会議で審議することとなった。 |
| | （４）次回開催日について<br>事務局より資料に基づき説明。<br>第３回は令和７年１月を想定していたが、学校名候補の審議が継続となったため、令和６年１１月～１２月に一度開催する旨、説明。 |
| ３．その他 | 特になし |
| ４．閉　会 | 八柳委員長 |

以上

■各議題にかかる質疑応答一覧

〇議題（１）制服等の方向性について
委員
１）性別を確認する必要性はあるか。
２）小学生が詰襟という言葉が分かるか。また中学生は詰襟の漢字が読めないところもあるので、標準型学生服などに言い換えてもいいのではないか。
３）導入時期について令和８年は間に合うのか。

事務局
１）当該アンケートについては幅広くご意見を伺うため、先進地の事例を参考に作成している。改めて確認のうえ必要に応じて修正していく。
２）詰襟の部分については補足を加え、ひらがなにするなど修正していきたい。
３）制服会社に確認したところ、令和８年度でも状況によっては何とか間に合うのではないかとの話であったが、今後検討を深めるのであれば令和９年が適当と考えている。

〇議題（２）校歌の在り方について
質疑なし。

〇議題（３）学校名の公募結果について
公募結果について質疑なし。
ワークショップについて事前質疑なし。

【結果共有】
Ａグループ
選んだ校名：ながぬま希望の丘学園・希望の丘ながぬま学園
※ながぬまを漢字表記にするかも検討

発表者
　「ながぬま」という言葉を入れたい。ひらがなの持つあたたかさもあり、低学年にとってもいい。また、漢字の長沼中学は別の地域にもあるが、ひらがなの校名はない。また、「希望の丘」を入れてはどうかとの意見があり、「ながぬま希望の丘学園」、もしくは希望の丘にながぬま学園があるという意味を持たせ、最終的には「希望の丘ながぬま学園」がいいのではないかとの意見があった。
「マオイ」は愛着があるが、もうひとつ学校があるので混同してしまう。
また、小中学校という校名では変化が感じられないことから「学園」を使用してはどうかとの意見であった。

Ｂグループ
選んだ校名：長沼（もしくは「ながぬま」）小中学校、長沼希望の丘小中学校
※「長沼」をひらがなにするという意見もあり。

発表者
　シンプルですぐわかる校名とするならば、「長沼町立長沼小中学校」がいいので

はないか。また、一工夫した校名であれば、「長沼希望の丘小中学校」がいいのではないかとの意見であった。
「長沼」は外せないだろうとの意見があり、漢字の「長沼」か、ひらがなの「ながぬま」がいいのか迷う声もあった。
また、「マオイ」については付けたいと思うが、「まおい学びのさと」と重複してしまう。「マオイ」と聞いて長沼に結びつかない方もいる、知名度が低いなどデメリットもあるのではないかとの意見があった。最後に「長沼町立」は最低限付けていきたいとの意見であった。

Ｃグループ
選んだ校名：長沼義務教育学校・長沼小中学校・広い大地小中学校

発表者
　「マオイ」の部分はやはり、混同しやすいのでふさわしくない。学園については、外の人が聞いたときに、小学校なのか中学校なのかわからないこともあり、付けない方がいいのではないかとの意見があった。それらを踏まえて出てきた意見が「長沼義務教育学校」と「長沼小中学校」がシンプルでわかりやすいのではないかとのことであった。長いよりは短い方がいいだろうとのことで、第１が「長沼小中学校」、第２が「長沼義務教育学校」、３つ目は永久になくならないものを付けてはどうかということで、「まごころ、広い大地、サンセット（夕日）」などを付けてはどうかとの意見であった。

委員長
　全体で複数の候補が出たが、ここから絞るかどうかも含めてご意見をいただきたい。

委員
　「広い大地小中学校」を入れると、普通の中にちょっと面白さが感じられ、いいのではと思う。

委員長
　一応確認であるが、全て頭に「長沼町立」がつくのか。

事務局
　お見込みのとおり。

委員
　漢字表記かひらがな表記かによって、候補を増やす必要があるか。

事務局
　それぞれで分けるとするならば、候補は増えることになる。最終的に漢字表記をこの委員会でひらがなに変えるという方法もある。

委員
　最終的には保護者なり子どもたちのアンケートによって決まるのか。

事務局
　児童生徒に対する投票を依頼して実施するが、結果を踏まえて準備委員会で話し合う予定である。得票数が１位だから決定ということではなく、子どもたちの投票結果を踏まえた中で、準備委員会で１案に絞っていく予定である。

委員
　漢字・ひらがなに関してはアンケートの出し方で印象が変わる。学校名は漢字・ひらがなの二段階若しくは全パターンを表記する方法もある。

事務局
　取りまとめた後、漢字・ひらがなについて当委員会で検討するという方法もある。

委員
　最初から漢字・ひらがなの２パターン出した方法がいいかと思う。

事務局
　今、挙げていただいた候補４つの漢字とひらがなのパターンを分けて８つで実施した中でアンケートを取るという方法もある。

委員
　得票数は出すけど、その結果を踏まえて準備委員会の中で検討しますなど見通しをもったアンケートの取り方にしないと混乱・不満となる。また、ひらがなで選ばせて、選んだ校名を漢字にすべきか選んでもらうといいのではないかと思った。

委員
　大人の発想ではいいかと思うが、アンケートは子どもから見ると「投票」となる。目的（候補を選ぶことなど）を説明しておかないとうまくいかないと考える。

委員
　我々でも迷っているのだから、これだけ案が多いと子どもたちも迷うと思う。せっかくのこの会議なので３パターンに絞ってアンケートを実施したほうがいいと考えるがどうか。子ども・保護者の声を反映するのは分かるが、ある程度、委員会で決定するのがいいと思う。何回もアンケートやらなくてはいけなくなるのでしっかり決めて提示する方がいいと思う。

委員長
　アンケート後に多数結果が変わるのは避けたほうがいい。

事務局

　漢字・ひらがなの違いも含めて３案程度に絞って進めていきたいと考えるがどうか。

委員長
「長沼町立長沼小中学校」・「長沼町立長沼義務教育学校」・「長沼町立長沼希望の丘学園」で３案になるので、漢字・ひらがなで合計６パターンは出すのはどうか。

委員
　「長沼町立長沼小中学校」としたとき、長沼町立は漢字になるので、小学校低学年は読みにくいことから、ひらがながいいのではないか。

委員
　現在、小学校・中学校は漢字表記が使われているので見慣れているが、小学校低学年でも読みやすく、やわらかい表現が出るのであればひらがなでもいいと思う。

委員
　アンケートの取り方について、漢字で案をすべて示し、最後に「長沼」を漢字にしますか、ひらがなにしますかなど意向を確認する設問を入れるのはどうか。

委員
　学校名について、標記が漢字の「長沼」のままだと変化が感じられない。新しいことをやっていくとするのであれば漢字よりもひらがなを勧めたい。

委員
　投票する際に理由は示されるのか。

事務局
　補足として示し、判断材料のひとつとなるようにしたい。

委員
　「希望の丘」を入れるとなると、中学校の校歌がどうなるかによっても変わってくる。校歌が変わるのだとしたら、１０年後の子どもはなぜ「希望の丘」になったのか理由が分からなくなる。それらを考えると名前を付ける意味が重たくなってくる。

委員長
　一旦事務局で案を絞った後に改めて委員会で協議はどうか。「希望の丘」を選択するのであれば、校歌の継続は必須となる。本日の委員会の内容を加味して、事務局で３つくらいに絞って、再度会議に諮っていきたいがいかがか。

委員
　「希望の丘ながぬま学園」の単語の順序に関して、「ながぬま」を先にするか、「希望の丘」を先にするかは当該委員会で決められるのではないか。

委員
　「学園」は全国でも多いので逆に使わない方がいいのではという意見もあった。

委員長
　「小中学校」では変化が無いのではという意見もある。

委員
　先に「希望の丘」を付けるのが適当ではないか。多くの意見では「ながぬま学園、長沼小中学校」などのまとまりを尊重して、その前に「希望の丘」を付けるのがいいのではないか。

委員長
　長沼町立〇〇「希望の丘など」長沼●●「学園・小中学校など」ということか。

事務局
　「長沼町立長沼（ながぬま）学園」が最もスタンダードなものであるが、これから多くの方から意見をいただいており、候補に入れたほうがよいと思うか議論いただきたい。

委員
　「希望の丘」は現在の校歌ありきと感じる。丘を付ける必要はあるか。長沼に丘のイメージはない。希望の丘に学校名が引っ張られている気がしている。「希望」という言葉を入れるのであれば、校歌の影響を受けないのではないか。

委員長
　「希望の丘」を使うのであれば校歌とセットにする必要性が出てくる。

委員
　選択式のアンケートはどうか。「希望の丘・広い大地など」のいわゆるまくら言葉が付くか付かないか、「長沼」という名前が入る・入らない、「学園なのか小中学校なのか」それぞれを選ばせるアンケートを実施してはどうか。

委員
　いい案であるが、小学校低学年の理解が難しいと思われる。

委員
　「希望の丘」は、当時校歌に入れてほしい単語についてアンケートを取った結果である。当時の生徒は卒業しているし、校歌が今後どうなるか分からないが、当時の生徒の思いは入っている。

委員長

アンケートの取り方も含めて一度事務局で整理していただきたい。

事務局
一度事務局で協議させていただき、再度委員会へ諮ってまいりたい。

〇議題（４）次回開催日について
質疑なし。

〇その他
特になし。

19 時 35 分終了